

向日市報

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

第22回 全国都道府県対抗自転車競技大会

第43回 国民体育大会自転車競技リハーサル大会



スリルとスピード

8月29日・30日

向日町競輪場

第22回全国都道府県対抗自転車競技大会(第43回国民体育大会自転車競技リハーサル大会)が向日町競輪場で、8月29日・30日の両日華々しく開催されます。

他のスポーツには類を見ないスリルとスピード、渾身の力をこめた若人の熱い戦いをご覧ください。

また、28日にも京都府美山町でロードレースが行われます。

この大会は、朝日本アマチュア自転車競技連盟と、向日市・美山町・京北町・京都市の第43回国民体育大会実行委員会主催のもとで行われるもので、全国45都道府県から選手・監督251名、大会役員226名、競技役員98名(トラック)96名(ロード)が参加します。

また、向日町競輪場で行われるトラック競技には高校生などの競技補助員51名の他に競技会係員159名が参加するトラック種目には

各県1名が参加する1000mタイムトライアル・スプリント・ポイントレースの他に各県1チームの4000m団体追抜競争があります。

第1回オリンピックから正式種目として現在も続いている自転車競技、この機会に、ぜひ市民の皆さんも若人の熱い戦いに声援を送り、一流選手の高い技術をご観賞ください。

競技日程

| | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| 競技日程 第2日 8月29日(出) | 10. 4,000m団体追抜競走準決勝(2組).....9:15~ |
| 1. スプリント予選(43人).....9:30~ | 11. スプリント1/4 決勝(4組).....9:40~ |
| 2. 4,000m団体追抜競走予選(22組).....11:10~ | 12. ポイントレース決勝(30,000m).....10:15~ |
| 3. スプリント1/16 決勝(8組).....14:10~ | 13. スプリント1/2 決勝(2組).....11:00~ |
| 4. ポイントレース予選(15,000m)(2組).....14:30~ | 表彰 ポイントレース.....11:30~ |
| 5. スプリント1/16 敗者復活戦(4組).....15:30~ | 14. 4,000m団体追抜競走3・4位決定戦.....11:40~ |
| 6. 1,000mタイムトライアル決勝(45人).....15:45~ | 15. 4,000m団体追抜競走決勝.....11:50~ |
| 7. スプリント1/8 決勝(4組).....17:00~ | 16. スプリント5~8位決定戦(1回戦).....12:05~ |
| 表彰 1,000mタイムトライアル.....17:15~ | 17. スプリント3・4位決定戦(1回戦)..... |
| 8. 4,000m団体追抜競走準々決勝(4組).....17:30~ | 18. スプリント決勝(1回戦)..... |
| 表彰 4,000m団体追抜競走.....12:15~ | 17. スプリント3・4位決定戦(2・3回戦).....12:30~ |
| 表彰 4,000m団体追抜競走.....12:30~ | 18. スプリント決勝(2・3回戦)..... |
| 競技日程 第3日 8月30日(日) | ◎閉会式(向日市民会館).....13:40~ |
| 9. スプリント1/8 決勝敗者復活戦(4組).....9:00~ | |

サルビアとマリーゴールド さしあげます

リハーサル大会終了の翌日8月31日午前9時30分から11時30分までの間に、先着250名の方にサルビアとマリーゴールドのプランターを2鉢さしあげます。ご希望の方は向日町競輪場までご来場ください。向日市国民体育委員会



自転車競技(トラック)(ロード)の見どころ



自転車競技のみどころ、醍醐味を説明します。

マスプリントはこの競技は「トラック競技の花」にたとえられるように、スプリント、テクニクを要する競技です。

競技方法は、2~4名の選手が同時にスタートし、競走路を2周します。1周目は規則により、インコースの選手が先行しなければなりません。選手はお互いに相手の位置、出方、ギャレンシオ、癖をうかがいながら自分に有利な作戦がとれるようけん制しあいます。

2周目になるとお互いにスピードのチャンスをお互いに、レースは緊迫してきます。

相手の油断をみすまして一挙に逃げる選手、先行した選手をマークしてゴール前で逆転をねらう選手など最も高度のテクニクと頭脳プレー、そしてスプリントが要求されます。

▼1000m タイムトライアル
この競技はまさに「自己との戦い」「孤独との戦い」という言葉がふさわしく、自転車競技の中で最も基本的な競技です。1000mをいかに短かい時間で走り切るかを競うため選手は内線に沿って最短距離のコースを走ろうと努めますが、時速50~60kmのスピード、コーナリ、風圧、ペース配分などが難しくして苦みます。風圧を避ける流線型のフォーム、巧みなコーナリング、渾身の力をこめたペダリングの中で孤独と自己に戦っている姿をご覧ください。

▼4000m団体追抜競争
1チーム3名もしくは4名の選手がホームとバックから一斉にスタートし、4000mを走る間に相手チームを追い抜こうとする競技で「追抜き勝ち」と「完走勝ち」があります。勝負はいずれの場合も3番手。

目の選手が基準になります。自転車競技最大の敵、風圧を避けるために傾面を用いて先頭を交代しながらスピードを追求します。時速50~60kmのスピードで走行する4名の選手のスピード感、先頭選手がスリリングに急傾面を用いて交代する姿、脚なみのそろったペダリング、ゴール前でのホーム、バックでの秒争いをうかがう選手は見る者を興奮させます。

▼ポイントレース
本大会では予選15000m、決勝30000mで競技を行います。

選手が一斉にスタートし4周目8周目と4周目ごとのホームスタートのポイントを通過する際通過順位1位に5点、2位に3点、3位に2点、4位に1点と得点を考え、各選手の手得点合計によって順位を決定します。(中間点と最後の回は、1位10点、2位6点、3位4点、4位2点となる)

選手は、互いに相手の得点と自分の得点、残りの周回などを計算しながらレースを進めてゆき、相手の虚をついて大量得点をねらったり、ポイント時だけ鋭く差し込んで得点を積み重ねるなど自分の脚力に応じたかけ引きを行います。

▼ロードレース
一般公道を利用し、100名を超す選手が長い距離で競技するもので、自転車競技の華ともいわれています。

この競技は、持久力や坂を速く登る登はん力、下り坂を速く走れるダウンヒルのテクニク、カーブを速く走り抜けるコーナーリングのテクニク、ラストスプリントなど多くの要素をクリアしなければなりません。

スピードとスタミナは全スポーツ中最も過酷なもので、強じんな体力と強固な意志が要求されます。